

**令和2年度**

**秋季入学（令和2年10月入学）  
高知工科大学大学院工学研究科**

**学 生 募 集 要 項**

**< 一 般 選 拔 >**

**< 社 会 人 特 別 選 拔 >**

**< 長 期 履 修 プ ロ グ ラ ム >**

**修 士 課 程**

**博 士 後 期 課 程**



**高知工科大学**

KOCHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

## アドミッション・ポリシー ～入学者受入方針～

高知工科大学は「大学のあるべき姿を常に追求し、世界一流の大学を目指す」ことを目標として掲げています。この目標に賛同し、来るべき社会に活躍できる高度技術者・高度研究者になるという強い意志と情熱を持ち、勉学意欲のある人を求めます。

大学院工学研究科には12の履修コースからなる修士課程と3つのコースから構成される博士後期課程があります。各コースの教育の理念・目標を理解するとともに、その技術分野への高い関心と志望動機・目的意識を持ち、本学の大学院工学研究科で学ぶための基礎学力を有していると認められる人の入学を希望しています。

## カリキュラム・ポリシー ～教育理念・目標～

### 【修士課程】

修士課程においては、学士課程の教育を発展させ、より高度な専門的知識と論理的思考力、客観的洞察力を修得させることを重視した教育課程を編成します。

専門分野に偏ることなく、物事を多様な観点から捉えることのできる広い視野を持った人材を育成するため、修士課程は、工学研究科基盤工学専攻の1研究科1専攻のみを設置しています。

学生は、専門分野毎に設定されたコースに所属し、各コースの教育プログラムによって科目履修と研究を進め、さらに他コースが提供する科目の履修も可能です。

一人の学生に対し、主指導教員1名と副指導教員1名が連携して履修と研究を指導します。また、研究指導とE-learningプログラムによる研究倫理教育を通じて、高い倫理観を養います。

○カリキュラムの構成

科目は、「共通科目」、「専門領域科目」、「研究領域科目」に分類しています。

#### (1) 共通科目

数学、英語など、専門分野を学ぶうえで基礎となる数理科学の知識修得や、国際社会で活躍するために必要な知識や情報発信力を育む科目群を提供しています。

#### (2) 専門領域科目

学士課程の教育を発展させた各分野の高度な専門知識から最先端の技術や研究成果までを体系的に学ぶ科目群を提供しています。

#### (3) 研究領域科目

必修科目としての「特別研究」をはじめとして、セミナーや演習を中心に課題解決に必要な実践力や応用力を養成する科目群を提供しています。

○学修成果の評価

学位論文は、明確な審査基準を示すとともに、複数の審査員による公開論文審査を実施することにより、公平性・厳格性を担保しています。

### 【博士後期課程】

博士後期課程においては、修士課程の教育を発展させ、さらに高度な専門知識や先端的な分野に対応できる研究能力を涵養することを重視した教育課程を編成します。

専門分野に偏ることなく、物事を多様な観点から捉えることのできる広い視野を持った人材を育成するため、工学研究科基盤工学専攻の1研究科1専攻としています。

一人の学生に対し、主指導教員1名と副指導教員2名が連携し、独創的・創造的で社会的・学術的な貢献が期待できる研究を指導します。また、研究指導やE-learningプログラムによる研究倫理教育を通じて、高い研究者倫理観、技術者倫理観を養います。

○カリキュラムの構成

科目は、「共通科目」と「専門領域科目」に分類しています。

#### (1) 共通科目

将来、国際的に活躍していくために必要な英語による情報発信力、論文執筆力を培う科目を提供します。

#### (2) 専門領域科目

研究に関する高度で幅広い専門知識の修得に加えて、各専門分野における研究の最新動向を理解するための科目を配置します。

多彩なセミナーや演習によって主体的な研究遂行を促します。

○学修成果の評価

学位論文は、明確な論文受理基準と審査基準を示すとともに、複数の審査員による公開論文審査を実施することにより公平性・厳格性を担保します。

## 【修士課程】

### ● 知能機械工学コース

---

- ・メカトロニクス、ロボティクスに関する専門力を伸ばすことに主眼をおいた科目を提供します。
- ・研究活動を通じて高い専門力と、境界領域にも対応できる応用力を身に付けます。

### ● 航空宇宙工学コース

---

- ・航空宇宙工学における高度な知識の修得に係る科目を提供します。
- ・研究活動では、論理的思考力や課題の設定・解決能力の涵養を重視します。

### ● エネルギー工学コース

---

- ・次世代エネルギーに関する先端的な研究成果や技術課題を学ぶ科目を提供します。
- ・特別研究では、機械工学あるいは電気工学分野のエネルギー技術について深く学ぶとともに課題解決能力を身に付けます。

### ● 電子・光工学コース

---

- ・電子・光デバイスや情報通信分野における厳選した専門科目を提供します。
- ・特別研究では、電子・光技術に関する応用力、課題解決力を身に付けます。

### ● 社会システム工学コース

---

- ・社会基盤や住環境の計画・整備と運営・維持のための高度な要素技術やデザインを学びます。
- ・安全で心豊かな生活を実現するために、建築・土木分野のみならず、関連する異分野の議論能力を高め、実社会における複雑なシステム的問題を発見、解決する力を養います。

### ● 環境数理コース

---

- ・環境学とデータサイエンスに関する幅広い知識を修得する科目を提供します。
- ・環境設計学、データ解析学、シミュレーション学に関する演習を通じて、データサイエンスを駆使する実践的な分析力を修得します。
- ・特別研究を通じて、自然および社会の諸現象の背景にある本質的な関係を抽出・分析する能力を養います。

### ● 化学コース

---

- ・有機・無機・高分子・物理化学分野における高度な知識を修得する科目を提供します。
- ・先端的な化学研究についての議論を通じて、多角的な視点から考え・実践する論理的思考力・研究企画力を身に付けます。
- ・特別研究やセミナーを通じて、化学研究における高い専門力とプレゼンテーション力・ディベート力を養います。

### ● 生命科学コース

---

- ・分子細胞生物学、発生生物学、ゲノム科学、生物資源科学分野における厳選した専門科目を提供します。
- ・セミナーおよび演習では、生命科学研究に関する議論を通じて論理的思考力とプレゼンテーション力を涵養します。
- ・特別研究を重視し、学術論文から吸収した知識を発展的に活用できる研究力を育むとともに、生命科学者としてのセンスを養います。

## ● マテリアル工学コース

- ・熱力学、量子力学、結晶学、固体物性論、結晶成長、材料組織学等、材料科学の根幹をなす分野の理解を深める科目を提供します。
- ・各種マテリアルの特徴と用途を理解したうえで、特性の発現機構とそれを最適化する組織制御技術、製造および加工プロセス、評価手法等について環境負荷と経済性の視点も含め総合的に学びます。
- ・特別研究やセミナーにおける実験データに基づいた本質的な議論を通じて、論理的思考およびプレゼンテーションの重要性を学び、高度な研究力を身に付けます。

## ● 情報学コース

- ・理論と実践の両面を重視した科目群によって構成します。
- ・プロジェクトベースドラッシングを取り入れ、基礎知識の体系的な修得と最新技術への応用力を養います。

## ● 起業マネジメントコース

- ・グローバルな視点で学んだ多様な専門領域を領域横断的な発想で活かします。
- ・企業や行政での実務経験と実績を有する教員による授業を展開し、課題解決方法論を学びます。
- ・事業創造、起業、組織経営、地域行政経営等における生きた教材を通して課題解決の方法論を学びます。

## ● 高度教育実践コース

- ・科学・工学に関する学問分野を深く学ぶことにより、理工学系の教科に関する高度な知識と技能および研究能力を身に付けます。
- ・学校現場における理工学系の教科を中心とする実践・研究活動を通じて、教師としての総合的な実践力と課題発見力・課題解決力を養います。

## ディプロマ・ポリシー ～学位授与方針～

大学院工学研究科では、広範囲にわたる工学系の領域を融合させた総合的な教育・研究により、科学技術の発展に貢献できる人材を養成するという目的のもと、以下に示す能力を身に付け、学則に定める修了要件を満たした者に対して「修士」または「博士」の学位を授与します。

また、それぞれの学位には、研究分野に応じて「工学」、「学術」のいずれかを付記します。

- ・工学・理工学・情報学的分野：工学
- ・工学を基盤とする学術的・学際的分野：学術

### 【修士課程】

授与する学位：修士（工学または学術）

- 1 専攻する分野について修得した専門知識を活用する能力
- 2 独創性・創造性に富んだ発想と自分の考えを正しく論理的に表現する能力
- 3 国際感覚と多様性を許容する柔軟な発想
- 4 技術者としての倫理観
- 5 主体的に学び探求する能力

### 【博士後期課程】

授与する学位：博士（工学または学術）

- 1 専攻する分野の高度な専門知識の修得と先端的研究分野に対応できる研究能力
- 2 学術的新規性を伴った独創性・創造性のあるいは実務的影響力を意図した発想力とそれを具現化する実践力
- 3 グローバル社会に適応できる国際的コミュニケーション力
- 4 技術者・研究者としての高い倫理観と強固な責任感
- 5 弛まぬ考究力と未知の分野に挑戦する志向

# 目 次

■ 令和2年度大学院秋季入学試験の概要	1
■ 修士課程 [秋季入学]	
一般選抜／社会人特別選抜	2
長期履修プログラム ※最長10年間在学できるプログラム	3
■ 博士後期課程 [秋季入学]	
基盤工学コース／起業マネジメントコース（一般選抜／社会人特別選抜）	4
社会人特別コース（社会人特別選抜）短期学位取得コース	5
■ 特待生選抜について（博士後期課程）	6
■ 出願手続	7～8
■ 出願資格審査について	8～10
■ 受験および修学上の配慮を必要とする場合の事前相談	10
■ 合格発表	10
■ 入学手続	10～11
■ 授業料	12
■ ティーチングアシスタント（TA）制度について（修士課程）	12
■ 給付奨学金について（博士後期課程）	12
■ 博士の学位授与に係る論文等の公表について	12
■ 個人情報保護について	12

問合せ先 高知県公立大学法人 高知工科大学 入試課  
〒782-8502 高知県香美市土佐山田町  
電話 0887-57-2222

# ■ 令和2年度大学院秋季入学試験の概要

## 1 研究科・専攻

- (1) 研究科：工学研究科
- (2) 専攻：基盤工学専攻

## 2 コース・募集人員・選抜区分

課程	コース	募集人員 ※1	選 抜 区 分				
			一般選抜	社会人 特別選抜	長期履修 プログラム	特待生選抜※ 2	外国人留学生特 別選抜※3
修士課程	知能機械工学コース	若干名	○	○	○	/	○
	航空宇宙工学コース						
	エネルギー工学コース						
	電子・光工学コース						
	社会システム工学コース						
	環境数理コース						
	化学コース						
	生命科学コース						
	マテリアル工学コース						
	情報学コース						
	起業マネジメントコース						
	高度教育実践コース						
博士後期課程	基盤工学コース	若干名	○	○	/	○	○
	起業マネジメントコース		○			○	
	社会人特別コース		/			/	

※1 募集人員は、一般選抜、社会人特別選抜、長期履修プログラム、特待生選抜、外国人留学生特別選抜を合計したものです。

※2 特待生選抜については、6ページを参照してください。

※3 外国人留学生特別選抜については、大学Webサイト「入試情報」→「大学院入試情報」をご参照ください。

## 3 試験日等日程 ※出願および入学手続期間は締切日17:00必着

課程	コース	選抜区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
修士課程	知能機械工学コース	一般選抜 社会人特別選抜 長期履修プログラム	令和2年5月29日(金) ↓ 令和2年6月5日(金)	令和2年6月28日(日)	令和2年7月2日(木)	令和2年7月3日(金) ↓ 令和2年7月10日(金)
	航空宇宙工学コース					
	エネルギー工学コース					
	電子・光工学コース					
	社会システム工学コース					
	環境数理コース					
	化学コース					
	生命科学コース					
	マテリアル工学コース					
	情報学コース					
	起業マネジメントコース					
	高度教育実践コース					
博士 後期課程	基盤工学コース	一般選抜・ 社会人特別選抜		令和2年8月20日(木) 8月21日(金) のいずれか1日	令和2年9月7日(月)	令和2年9月8日(火) ↓ 令和2年9月15日(火)
	起業マネジメントコース					
	社会人特別コース	社会人特別選抜				

# ■ 修士課程 [秋季入学] 【一般選抜／社会人特別選抜】

※長期履修プログラムについては、3ページを参照してください。

## 1 コース・選抜区分・募集人員

コース	選抜区分	募集人員
知能機械工学コース 航空宇宙工学コース エネルギー工学コース 電子・光工学コース 社会システム工学コース 環境数理コース 化学コース 生命科学コース マテリアル工学コース 情報学コース 起業マネジメントコース 高度教育実践コース	一 般 選 抜 社 会 人 特 別 選 抜	若干名

## 2 出願資格

### (1) 一般選抜

下記の①～⑩のいずれかに該当する者。なお、高度教育実践コースへ出願する者は①～⑩のいずれかに該当し、かつ⑩にも該当する者。

- ① 大学を卒業した者、または令和2年9月30日までに卒業見込みの者
- ② 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者、または令和2年9月30日までに授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、または令和2年9月30日までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または令和2年9月30日までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または令和2年9月30日までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者、または令和2年9月30日までに授与される見込みの者
- ⑦ 専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または令和2年9月30日までに修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により他大学大学院に入学した者であって、本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- ⑩ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和2年3月31日までに22歳に達したもの
- ⑪ 教育職員免許法第4条に定める普通免許状（一種免許状に限る。）を有する者、または令和2年9月30日までに一種免許状を取得見込みの者  
 高度教育実践コースに一種免許状を取得見込みで出願し合格した者が、令和2年9月30日までに一種免許状を取得できない場合は、合格取消となります。

※ 上記⑨、⑩の出願資格については、出願に先立ち出願資格審査を行いますので、8～10ページの「出願資格審査について」を参照してください。

### (2) 社会人特別選抜

上記(1)の出願資格を満たし、有職者であるか、または大学を卒業後2年以上経過している者

## 3 選抜方法

一 般 選 抜	面接（口頭試問を含む）および提出書類を総合して判定します。
社会人特別選抜	面接（口頭試問を含む）および提出書類（経歴書を含む）を総合して判定します。

## 4 出願期間・試験日等

出願および入学手続期間は締切日17:00 必着

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
令和2年5月29日(金) ↓ 令和2年6月5日(金)	令和2年6月28日(日)	令和2年7月2日(木)	令和2年7月3日(金) ↓ 令和2年7月10日(金)

- ▶ 出願手続および出願書類等については、7～8ページを参照してください。
- ▶ 合格発表、入学手続については、10～11ページを参照してください。

## 5 試験時間

面 接	9:00～18:00	※試験当日の集合時刻は、出願時に登録しているメールアドレスに通知します。
-----	------------	--------------------------------------

## 6 試験会場

高知工科大学香美キャンパス	高知県香美市土佐山田町宮ノ口185
---------------	-------------------

※修士課程への志願者は、本学大学院教員のうち、2年以内に定年退職予定の教員を指導教員として希望することは、原則としてできません。また、本学研究機関勤務の教員を指導教員として希望する場合は、事前に入試課までご連絡ください。

# ■ 修士課程 [秋季入学] 【長期履修プログラム】

※長期履修プログラムは、最短2年6ヶ月、最長10年間在学できるプログラムです。  
授業料は履修登録ごとに納入（12ページ参照）となります。

## 1 コース・選抜区分・募集人員

コース	選抜区分	募集人員
知能機械工学コース 航空宇宙工学コース エネルギー工学コース 電子・光工学コース 社会システム工学コース 環境数理コース 化学コース 生命科学コース マテリアル工学コース 情報学コース 起業マネジメントコース 高度教育実践コース	長期履修プログラム	若干名

## 2 出願資格

次の（１）、（２）のいずれかを満たす者で、下記の①～⑩のいずれかに該当する者。なお、高度教育実践コースへ出願する者は①～⑩のいずれかに該当し、かつ⑩にも該当する者。

- （１）企業等に雇用されている者もしくは雇用の見込みがある者、または自ら事業を行っている者もしくはその計画を有している者  
（２）その他長期履修を必要とする事由があると本学学長が認める者

- ① 大学を卒業した者、または令和2年9月30日までに卒業見込みの者  
 ② 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者、または令和2年9月30日までに授与される見込みの者  
 ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、または令和2年9月30日までに修了見込みの者  
 ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または令和2年9月30日までに修了見込みの者  
 ⑤ 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または令和2年9月30日までに修了見込みの者  
 ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者、または令和2年9月30日までに授与される見込みの者  
 ⑦ 専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または令和2年9月30日までに修了見込みの者  
 ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）  
 ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により他大学大学院に入学した者であって、本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの  
 ⑩ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和2年3月31日までに22歳に達したもの  
 ⑪ 教育職員免許法第4条に定める普通免許状（一種免許状に限る。）を有する者、または令和2年9月30日までに一種免許状を取得見込みの者  
 高度教育実践コースに一種免許状を取得見込みで出願し合格した者が、令和2年9月30日までに一種免許状を取得できない場合は、合格取消となります。  
 ※ 上記⑨、⑩の出願資格については、出願に先立ち出願資格審査を行いますので、8～10ページの「出願資格審査について」を参照してください。

## 3 選抜方法

面接（口頭試問を含む）および提出書類（経歴書を含む）を総合して判定します。

## 4 事前協議

本プログラムへの志願者は、出願の前に指導を希望する本学大学院教員と受け入れの可能性について協議してください。ただし、本学大学院教員のうち、2年以内に定年退職予定の教員を指導教員として希望することは、原則としてできません。また、本学研究機関勤務の教員を指導教員として希望する場合は、事前に入試課までご連絡ください。

## 5 出願期間・試験日等

出願および入学手続期間は締切日17:00 必着

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
令和2年5月29日(金)	令和2年6月28日(日)	令和2年7月2日(木)	令和2年7月3日(金)
令和2年6月5日(金)			令和2年7月10日(金)

- ▶出願手続および出願書類等については、7～8ページを参照してください。  
▶合格発表、入学手続については、10～11ページを参照してください。

## 6 試験時間

面接 9:00～18:00 ※試験当日の集合時刻は、出願時に登録しているメールアドレスに通知します。

## 7 試験会場

高知工科大学香美キャンパス 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185

※長期履修プログラムの学生は、入学後、休学申請はできず、また入学を許可されたコース以外への転コース、通常の2年課程への異動はできませんのでご注意ください。



# ■博士後期課程 [秋季入学] 基盤工学コース／起業マネジメントコース 【一般選抜／社会人特別選抜】

特待生選抜については、6ページを参照してください。

## 1 コース・選抜区分・募集人員

コース	選抜区分	募集人員
基盤工学コース 起業マネジメントコース	一般選抜 社会人特別選抜	若干名

## 2 出願資格

### (1) 一般選抜

次のいずれかに該当する者

- ① 修士の学位もしくは専門職学位を有する者、または令和2年9月30日までに授与される見込みの者
- ② 外国において修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与された者、または令和2年9月30日までに授与される見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与された者、または令和2年9月30日までに授与される見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与された者、または令和2年9月30日までに授与される見込みの者
- ⑤ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、または令和2年9月30日までに授与される見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- ⑦ 外国の学校、上記④の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者、または令和2年9月30日までに認められる見込みの者
- ⑧ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、令和2年3月31日までに24歳に達したもの

※ 上記⑦、⑧の出願資格については、出願に先立ち出願資格審査を行いますので、8～10ページの「出願資格審査について」を参照してください。

### (2) 社会人特別選抜

上記(1)の出願資格を満たし、有職者であるか、大学院修士課程または大学院博士前期課程を修了後2年以上の実務経験がある者

## 3 選抜方法

一般選抜	面接（口頭試問を含む）および提出書類を総合して判定します。
社会人特別選抜	面接（口頭試問を含む）および提出書類（経歴書を含む）を総合して判定します。

## 4 事前協議

本コースへの志願者は、出願の前に指導を希望する本学大学院教員と受け入れの可能性について協議してください。ただし、本学大学院教員のうち、3年以内に定年退職予定の教員を指導教員として希望することは、原則としてできません。また、本学研究機関勤務の教員を指導教員として希望する場合は、事前に入試課までご連絡ください。

## 5 出願期間・試験日等

出願および入学手続期間は締切日17:00 必着

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
令和2年5月29日(金) } 令和2年6月5日(金)	令和2年6月28日(日)	令和2年7月2日(木)	令和2年7月3日(金) } 令和2年7月10日(金)

▶出願手続および出願書類等については、7～8ページを参照してください。

▶合格発表、入学手続については、10～11ページを参照してください。

## 6 試験時間

面接	9:00～18:00	※試験当日の集合時刻は、出願時に登録しているメールアドレスに通知します。
----	------------	--------------------------------------

## 7 試験会場

高知工科大学香美キャンパス	高知県香美市土佐山田町宮ノ口185
---------------	-------------------

# ■博士後期課程【秋季入学】社会人特別コース

## 【社会人特別選抜】短期学位取得コース

### 1 コース・選抜区分・募集人員

コース	選抜区分	募集人員
社会人特別コース	社会人特別選抜	若干名

### 2 出願資格

有職者であるか、大学院修士課程または大学院博士前期課程を修了後2年以上の実務経験がある者で、次のいずれかに該当する者

- ① 修士の学位もしくは専門職学位を有する者、または令和2年9月30日までに授与される見込みの者
  - ② 外国において修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与された者、または令和2年9月30日までに授与される見込みの者
  - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与された者、または令和2年9月30日までに授与される見込みの者
  - ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与された者、または令和2年9月30日までに授与される見込みの者
  - ⑤ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、または令和2年9月30日までに授与される見込みの者
  - ⑥ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
  - ⑦ 外国の学校、上記④の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者、または令和2年9月30日までに認められる見込みの者
  - ⑧ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和2年3月31日までに24歳に達したもの
- ※ 上記⑦、⑧の出願資格については、出願に先立ち出願資格審査を行いますので、8～10ページの「出願資格審査について」を参照してください。

### 3 選抜方法

学位論文予備審査、試問試験および提出書類（経歴書を含む）を総合して判定します。

### 4 事前協議

本コースへの志願者は、出願の前に指導を希望する本学大学院教員と受け入れの可能性について協議してください。ただし、本学大学院教員のうち、3年以内に定年退職予定の教員を指導教員として希望することは、原則としてできません。また、本学研究機関勤務の教員を指導教員として希望する場合は、事前に入試課までご連絡ください。

### 5 出願期間・試験日等

出願および入学手続期間は締切日 17:00 必着

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
令和2年5月29日(金) ↓ 令和2年6月5日(金)	令和2年8月20日(木) 令和2年8月21日(金) のいずれか1日	令和2年9月7日(月)	令和2年9月8日(火) ↓ 令和2年9月15日(火)

- ▶ 出願手続および出願書類等については、7～8ページを参照してください。
- ▶ 合格発表、入学手続については、10～11ページを参照してください。

### 6 試験時間

9:00～18:00

※試験当日の集合時刻は、出願時に登録しているメールアドレスに通知します。

### 7 試験会場

高知工科大学香美キャンパス

高知県香美市土佐山田町宮ノ口185

## ■ 特待生選抜について（博士後期課程）

大学院博士後期課程には、特に優秀な博士後期課程の学生に対し就学を奨励するための特待生制度があります。

博士後期課程特待生制度（Special Scholarship Program: SSP）は、大学の先進的な研究を推し進めるため、2003年に創設されました。毎年春と秋、特定の研究プロジェクトに従事する博士後期課程学生を、日本を含む全世界から募集、選抜しています。入学した学生は、プロジェクトリーダーである教員の下、指導を受けます。

本制度は、アメリカの大学等で多く採用されている研究への専念に重きを置いた制度です。授業料等全額免除に加え、先端的研究プロジェクトに従事することにより給料を得ることができるため、学生は、経済的負担・不安を抱えることなく、在学中の時間を有効に使って指導教員と共に研究を推し進めながら学位取得を目指すことができます。

特待生制度の適用を受けるには、特待生選抜に出願し、合格する必要があります。

### 1 特待内容

- ①入学検定料免除                    30,000円
- ②入学料免除                        300,000円
- ③授業料全額免除                年間535,800円
- ④月150,000円の給与を支給

本学の研究プロジェクトに従事することに対して月150,000円の給与を支給します。

※特待生制度の適用期間は1年間で、特に問題がない限り3年間を上限に更新されます。ただし、本学学則第23条の懲戒に該当したとき、特待生の研究成果の評価が特待生として相応しくないと認められたとき、その他、特待生として相応しくない行為が認められたときには、特待生としての資格が取り消されます。

### 2 特待生選抜の詳細について

本制度および出願手続・選抜方法等の詳細については、下記Webサイトをご参照ください。

アドレス「[https://www.kochi-tech.ac.jp/english/admission/ssp\\_aft19oct/outline.html](https://www.kochi-tech.ac.jp/english/admission/ssp_aft19oct/outline.html)」

※特待生選抜への出願は、本募集要項および本学のインターネット出願サイトではできません。

上記Webサイトで内容をご確認の上、出願してください。

※特待生選抜に出願する場合は、事前に必ず国際交流課（TEL：0887-53-1130）に相談してください。

# ■ 出願手続

## 1 出願書類

課程	選抜区分	入学志願票・写真票	自己推薦書	卒業(見込)証明書(修了(見込)証明書)	成績証明書	研究概要	長期履修学生申請書	長期履修計画書	経歴書	一種免許状の写し(見込み証明書) ※高度教育実践コースのみ
修士課程	一般選抜	●	●	●	●	英文・日本語ともそれぞれA4 1枚程度	●	●	●	●
	社会人特別選抜									●
	長期履修プログラム									●
博士後期課程	一般選抜	●	●	●	●	英文 A 4 2枚程度	●	●	●	●
	社会人特別選抜									●

●のある書類は、各選抜区分の提出必要書類です。

### 〈出願書類詳細〉

	修士課程	博士後期課程
入学志願票・写真票	入学検定料支払手続完了後にインターネット出願サイトからダウンロードできます。A4サイズ(カラー)で印刷してください。	
自己推薦書	本学Webサイト「入試情報」→「大学院入試情報」→「募集要項」より様式をダウンロードし、A4サイズで印刷後、 <u>自筆</u> で記入のうえ提出してください。	
卒業(見込)証明書(修了(見込)証明書) 成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> <li>出身大学の学長(学部長)等が作成し、<u>厳封したもの</u>を提出してください。</li> <li>出願資格②に該当する者は、次の書類を提出してください。               <ol style="list-style-type: none"> <li>学位授与証明書または学位授与申請受理証明書</li> <li>大学改革支援・学位授与機構に学位授与申請をした際に提出した成績に関する書類</li> </ol> </li> <li>出願資格⑨、⑩に該当する者で「出願資格審査」の際に提出している場合は不要です。</li> <li>※出願資格により、出願資格を証明する他の書類を提出していただくことがあります。不明点については入試課(TEL:0887-57-2222)までお問い合わせください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出身大学の学長(研究科長)等が作成し、<u>厳封したもの</u>を提出してください。</li> <li>出願資格⑦、⑧に該当する者で「出願資格審査」の際に提出している場合は不要です。</li> <li>※出願資格により、出願資格を証明する他の書類を提出していただくことがあります。不明点については入試課(TEL:0887-57-2222)までお問い合わせください。</li> </ul>
研究概要	現在までの研究内容または入学後の研究計画の概要を英文および日本語で記載したものを(各々A4サイズ1枚程度)を提出してください。(様式は定めなし。受験者の氏名を右上に記入。)	現在までの研究内容または入学後の研究計画の概要を英文で記載したものを(A4サイズ2枚程度)を提出してください。社会人特別コースへの出願者は、学位論文予備審査における研究骨子となります。(様式は定めなし。受験者の氏名を右上に記入。)
長期履修学生申請書	長期履修プログラムの出願者は、本学Webサイト「入試情報」→「大学院入試情報」→「募集要項」より様式をダウンロードし、A4サイズで印刷後、提出してください。	
長期履修計画書	長期履修プログラムの出願者は、本学Webサイト「入試情報」→「大学院入試情報」→「募集要項」より様式をダウンロードし、A4サイズで印刷後、提出してください。 ※長期履修計画書どおりに必ず履修しなければならないというわけではありませんが、 <b>事前に指導予定教員と充分協議した上で計画し、指導予定教員の署名・押印済みの計画書を提出してください。</b>	
経歴書	本学Webサイト「入試情報」→「大学院入試情報」→「募集要項」より様式をダウンロードし、A4サイズで印刷後、提出してください。 その他活動歴(研究歴、受賞歴、作品、資格、免許、特技等)については、それを証明する書類の写しを添付してください。 ・出願資格審査の際に提出している場合は不要です。 ※一般選抜の出願者は提出する必要はありません。	
一種免許状の写し(見込み証明書)	高度教育実践コースの志願者のみ提出	

## 2 出願書類の留意事項

長期履修プログラム（修士課程）および博士後期課程に出願する場合は、必ず出願の前に指導を希望する本学大学院教員と受け入れの可能性について協議してください。

- (1) **入学検定料 30,000円** ※出願受付後は一度納入された入学検定料は返還しません。
- (2) **出願書類提出先 〒782-8502 高知県香美市土佐山田町 高知工科大学 入試課**
- (3) **出願書類は書留速達で送付してください。出願期間の締切日17:00必着**です。
- (4) 出願用封筒は、市販の封筒(角形2号)を使用し、前面に所定の**封筒貼付用宛名シート**を貼り付けてください。  
(封筒貼付用宛名シートは、入学検定料支払手続完了後、インターネット出願サイトよりダウンロードできます。)
- (5) **出願書類の不足、誤記入等の場合、出願を受け付けることができませんので注意**してください。
- (6) 一度提出された書類は返還しません。
- (7) 出願書類へ記入した住所に変更が生じた場合は、ただちに入試課へ申し出るとともに郵便局へ転居届を提出してください。合格通知、入学手続書類等はすべて出願時に登録している住所に送付します。

### インターネット出願について

インターネット出願に関する詳細は、『インターネット出願利用ガイド』をご確認ください。

★掲載場所

本学Webサイト「入試情報」→「大学院入試情報」→「募集要項」

URL:[https://www.kochi-tech.ac.jp/admission/requirement/graduate\\_school.html](https://www.kochi-tech.ac.jp/admission/requirement/graduate_school.html)

## ■ 出願資格審査について

大学院において、修士課程の出願資格⑨または⑩、博士後期課程の出願資格⑦または⑧により出願を希望する方は、出願に先立ち、出願資格審査を受ける必要があります。審査の結果、出願資格を認定された場合に限り、出願が認められます。

出願資格審査の実施要領は、以下のとおりです。

### 1 申請期限

申請期限：令和2年4月17日（金）必着

### 2 申請方法

次の書類をそろえ、申請期限までに次ページの申請先に提出してください。審査に必要な書類がそろっていない場合、申請を受け付けることができませんので十分留意してください。

[申請書類]

- (1) 出願資格審査申請書(本学所定の様式。Webサイトよりダウンロード)
- (2) 生年月日を確認できる公的書類またはその写し
- (3) その他必要書類

#### ◆ 修士課程の出願資格⑨で出願しようとする場合

- ・ 在籍する大学院の成績証明書
- ・ 出身大学の成績証明書
- ・ 学習歴・実務経験等申告書(本学所定の様式。Webサイトよりダウンロード)

※成績証明書は、在籍する大学院の学長(研究科長)および出身大学の学長(学部長)が作成し厳封したもの。

#### ◆ 修士課程の出願資格⑩で出願しようとする場合

- ・ 最終学校の成績証明書
- ・ 最終学校の卒業(修了)証明書
- ・ 学習歴・実務経験等申告書(本学所定の様式。Webサイトよりダウンロード)
- ・ 個人の学習歴を証明する書類(該当者のみ)
- ・ 審査申請時の直近の就労(ただし継続して3ヶ月以上就労しているものに限る。)を証明する書類(該当者のみ)
- ・ 活動経験等を証明する書類(該当者のみ)
- ・ 資格等を有することを証明する書類(該当者のみ)

※成績証明書および卒業(修了)証明書は、最終出身校が作成し厳封したもの。

#### ◆博士後期課程の出願資格⑦で出願しようとする場合

- ・出身大学の卒業証明書または外国の学校教育における16年の課程を修了したことを証明する書類
  - ・学習歴・実務経験等申告書（本学所定の様式。Webサイトよりダウンロード）
  - ・大学、研究所等における2年以上の研究期間を証明する書類（原本）
  - ・大学、研究所等における研究の成果等を証明する書類
- ※卒業（修了）証明書は最終出身校が作成し厳封したもの。

#### ◆博士後期課程の出願資格⑧で出願しようとする場合

- ・最終学校の成績証明書
- ・最終学校の卒業（修了）証明書
- ・学習歴・実務経験等申告書（本学所定の様式。Webサイトよりダウンロード）
- ・個人の学習歴を証明する書類（該当者のみ）
- ・審査申請時の直近の就労（ただし継続して3ヶ月以上就労しているものに限る。）を証明する書類（該当者のみ）
- ・研究実績、活動経験等を証明する書類（該当者のみ）
- ・資格等を有することを証明する書類（該当者のみ）

※成績証明書および卒業（修了）証明書は最終出身校が作成し厳封したもの。

#### 〔本学所定の様式について〕

本学所定の様式については、本学Webサイト「入試情報」→「大学院入試情報」→「出願資格審査」よりダウンロードしてください。ダウンロードができない場合は、入試課（TEL：0887-57-2222）へお問い合わせください。

### 3 申請先および問い合わせ先

〒782-8502 高知県香美市土佐山田町 高知工科大学 入試課 TEL：0887-57-2222
---

※申請書類を郵送する場合は、必ず書留速達とし、封筒表に「出願資格審査申請書類在中」と朱書きしてください。

### 4 審査方法

高知工科大学の出願資格審査委員会において、提出された書類により審査します。なお、提出された書類以外に必要な応じ追加の書類の提出を求めることがあります。

### 5 審査基準

- (1) 修士課程の出願資格⑨で出願しようとする場合  
出身大学および在籍する大学院における成績ならびに取得した資格等を総合的に判断します。
- (2) 修士課程の出願資格⑩で出願しようとする場合  
最終学校卒業（修了）後における学習歴、社会における実務経験、海外における国際団体等での活動経験等を総合的に判断します。
- (3) 博士後期課程の出願資格⑦で出願しようとする場合  
大学卒業後または外国の学校教育における16年の課程修了後の大学、研究所等での研究成果等を総合的に判断します。
- (4) 博士後期課程の出願資格⑧で出願しようとする場合  
最終学校卒業（修了）後における研究・学習歴、社会における実務経験、海外における国際団体等での活動経験等を総合的に判断します。

### 6 審査結果の通知

審査結果は、申請者宛に郵送により通知します。

### 7 入学者選抜試験の受験について

「出願資格認定書」の交付を受けた方は、出願時に、当該出願資格認定書の写しを添付してください。

## 8 その他

- (1) 出願資格の認定は、入学者選抜（可否）とは別のものです。
- (2) 出願資格認定書は、次年度以降も有効ですが、「卒業（修了）見込」で認定を受けた方は、当該教育機関を卒業（修了）した証明書を提出できる場合に限りです。
- (3) 出願資格認定後、出願資格審査の対象となった事項について、事実と異なることが判明したときは、当該認定を取り消します。

## ■ 受験および修学上の配慮を必要とする場合の事前相談

障がい等を有する等、受験上および修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者は、出願に先立ち、それぞれの選抜区分における出願開始の2週間前までに入試課（TEL：0887-57-2222）に相談してください。なお、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合も事前相談が必要です。

## ■ 合格発表

### 1 合格発表日時

各合格発表日の午前10時

### 2 発表方法

下記へ合格者の受験番号を掲示します。

- ①本学香美キャンパス掲示板
- ②本学Webサイト 「入試情報」→「合格発表」→「大学院」  
アドレス「[https://www.kochi-tech.ac.jp/admission/r\\_public/](https://www.kochi-tech.ac.jp/admission/r_public/)」
- ③ケイタイサイト  
アドレス「<http://www.kochi-tech.ac.jp/m/>」



注) 電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

### 3 合格通知書等の送付

合格者には、合格通知書および入学手続書類等を本人宛（出願時に登録している住所）に書留速達で郵送します。

## ■ 入学手続

- (1) 入学手続には、「入学料および学生教育研究災害傷害保険料等の納入」と「入学手続書類の提出」があります。各選抜区分の入学手続期間内に入学料および学生教育研究災害傷害保険料等を納入し、入学手続書類を提出してください。
- (2) 入学手続期間内に入学手続を行わなかった者は、入学を辞退したものとみなします。

### 1 入学料の納入

- (1) 合格者には入学料振込依頼書を合格通知書とともに送付しますので、入学手続期間内に入学料を納入してください。納入方法はその際に通知します。
- (2) 一度納入された入学料は返還しません。
- (3) 入学料について改訂が行われた場合には、改訂時から新入学料が適用されます。

## 【入学科】

修士課程 博士後期課程	高知県内在住者 ※ 1	150,000円
	高知県外在住者 ※ 2	300,000円

※ 1 入学を許可された学生または当該学生の配偶者もしくは一親等の親族で、入学手続完了日の6ヶ月前から引き続き高知県内に住所を有することが住民票または住民票と戸籍謄本等で確認できる者（入学手続時に証明書類を提出していただきます。）

※ 2 高知県内在住者以外の者

注) 本学学士課程から引き続き修士課程に入学した場合または本学卒業生もしくは修了生が長期履修学生として修士課程に入学する場合は入学科は免除されます。

## 2 学生教育研究災害傷害保険料等の納入

学生教育研究災害傷害保険料および学研災付帯賠償責任保険料(納入時期：入学手続時)

修士課程 (長期履修プログラム以外)	学生教育研究災害傷害保険料 1,750円	計 2,430円
	学研災付帯賠償責任保険料 680円	
修士課程 (長期履修プログラム)	学生教育研究災害傷害保険料 2,600円	計 3,620円
	学研災付帯賠償責任保険料 1,020円	
博士後期課程 (社会人特別コース以外)	学生教育研究災害傷害保険料 2,600円	計 3,620円
	学研災付帯賠償責任保険料 1,020円	
博士後期課程 (社会人特別コース)	学生教育研究災害傷害保険料 1,000円	計 1,340円
	学研災付帯賠償責任保険料 340円	

入学生には、教育研究活動中の不慮の事故（課外活動を含む）および対人・対物事故（インターンシップ、教育実習を含む）に対する補償制度として、「学生教育研究災害傷害保険」および「学研災付帯賠償責任保険」に加入していただきます。保険料は入学時のみの納入で（長期履修プログラムを除く）、保険対象期間は修士課程（長期履修プログラム以外）は2年間、修士課程（長期履修プログラム）および博士後期課程（社会人特別コース以外）は3年間、博士後期課程（社会人特別コース）は1年間です。詳細については、合格通知書とともに送付します。

## 3 入学手続書類の提出

合格者には、入学手続書類を合格通知書とともに送付します。

入学手続期間内に入学手続書類を提出してください。

手続方法はその際に通知しますが、事前に次のものを用意しておいてください。

写 真 1 枚	・提出前3ヶ月以内に撮影したもの(カラー・白黒どちらでも可) ・サイズは縦4cm×横3cm ・正面、上半身、無帽で私服着用（学生証として使用するため）、背景のないもの ・裏に受験番号、合格コース、氏名を記入したもの
卒業(修了)証明書	・卒業(修了)見込みで受験した者のみ必要です。
一種免許状の写し	・一種免許状取得見込みで高度教育実践コースを受験した者のみ必要です。
在留カードの写し(両面)	・日本国籍を有しない者のみ必要です。

## 4 その他納入金

校友会費 20,000円（終身会費）

入学生には、高知工科大学校友会費を、入学手続時に納入していただくこととなります。

学内進学の方など、本学に在籍したことがあり、すでに校友会費（平成30年4月以前に納入した方については、同窓会費および後援会費）を納められている方は除きます。

詳細については、合格通知書とともに送付します。

## 5 その他

- (1) 入学手続完了後であっても、入学資格に該当しない事由が生じた場合には、入学できないことがあります。
- (2) 入学手続後、特別の事情により入学を辞退する者は、事前に入試課（TEL：0887-57-2222）に連絡の上、入学辞退願を令和2年9月30日（水）17：00までに必着するように入試課へ提出してください。
- (3) 上記期限までに入学辞退願を提出した者については、入学科を除いた納入金を返還します。



## ■ 授業料

### 【授業料および納入時期】

		納入期限	金額	年額
修士課程 (長期履修プログラム以外) 博士後期課程	1期分授業料	令和2年10月25日まで	267,900円	535,800円
	2期分授業料	令和3年4月25日まで	267,900円	

- (1) 1期分授業料の納入については、入学後に振込依頼書を別途送付いたします。
- (2) 2期分授業料より、入学生が指定する金融機関の預金口座からの口座振替となります。詳細については、後日お知らせいたします。
- (3) 授業料について改訂が行われた場合には、改訂時から新授業料が適用されます。

		納入期限	金額
修士課程 (長期履修プログラム)	科目登録料	履修申請の翌月末日	1単位 33,000円

※科目登録料の納入については、履修申請後に振込依頼書を別途送付いたします。  
科目登録料について改訂が行われた場合には、改訂時から新科目登録料が適用されます。

## ■ ティーチングアシスタント（TA）制度について（修士課程）

大学院修士課程の学生には、ティーチングアシスタントとして採用されると、学士課程の授業、実験、演習等の教育補助業務に従事することにより給与を受給できる制度があります。

## ■ 給付奨学金について（博士後期課程）

大学院博士後期課程では、学生が研究に専念できるよう、年間授業料に相当する給付奨学金を支給し経済的な支援を行います。対象者は学業、人物ともに優れ、他の学生の模範となる者として認められる者で、教員とともに研究を行う本学博士後期課程の学生です。ただし、収入の基準は、日本学生支援機構の大学院奨学金第一種奨学金家計基準に準じます。

※令和2年度の制度のため変更になることがあります。

## ■ 博士の学位授与に係る論文等の公表について

本学では、教育研究成果の電子化およびオープンアクセスの観点から、学位論文等をインターネット上で公表します。

## ■ 個人情報保護について

出願書類に記載された住所や氏名、その他個人情報は、以下の目的に利用いたします。

- (1) 入学試験の実施および判定
- (2) 合格通知・入学手続書類・入学に関するご案内などの発送
- (3) 入学者に関しては、入学に伴う教務事務（学籍、修学指導等）、学生支援事務（健康管理、奨学金申請、生活指導等）、就職支援・進路指導事務、授業料等の収納事務、附属情報図書館図書貸出事務
- (4) 個人情報を含まない形での統計のための集計

なお、出願書類に不備等があった場合に、その訂正・補完を迅速に行っていただくため、本学に出願がなされていること、および出願書類に不備等があることを、ご家族の方や出身大学等に通知する場合があります。

また、上記(1)～(4)の目的での利用に際し、業務委託を行うことがあり、委託業者に対して委託の範囲内で、記載された個人情報の全部または一部を提供することがありますが、この場合においても、上記以外の目的で、記載された個人情報を利用することはありません。なお、入学時に、本学校友会への入会手続に必要な情報を本学校友会事務局へ提供し、校友会活動に利用させていただきますので、予めご了承ください。